

株主・投資家の皆様へ

LINTEC

WAVE

リンテックウェーブ

*Linking
your
dreams*

MARCH 2022

86

第128期
(2022年3月期)
第3四半期
決算情報

証券コード：7966

● 株主・投資家の皆様へ

代表取締役社長
社長執行役員 **服部 真**

● スペシャルレポート

リンテックのシール・ラベル用
粘着製品と環境配慮に向けた
取り組み



チェongsu 濟州島

韓国の南端に位置する同国最大の島。奥に映る「城山日出峰」は海底噴火によってできた岩山で、この島のシンボルの一つ。菜の花も有名で、春には各所に黄色い絨毯が広がる。

目次

2 連結業績推移

3 株主・投資家の皆様へ

代表取締役社長
社長執行役員

服部 真

4 スペシャルレポート

リンテックのシール・ラベル用
粘着製品と環境配慮に向けた
取り組み

8 トピックス

9 新聞広告シリーズ

10 決算情報

12 セグメント情報

15 株式情報

(免責事項)

業績予想などの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などはさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

連結業績推移

売上高



営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



株主・投資家の皆様へ

▶ 2022年3月期第3四半期連結累計期間 (前年同期比)

売上高

191,245百万円 (11.3%増)

営業利益

17,770百万円 (51.9%増)

経常利益

18,558百万円 (62.0%増)

親会社株主に帰属する四半期純利益

13,373百万円 (68.5%増)

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社グループの2022年3月期第3四半期連結累計期間の業績は、半導体・電子部品関連製品が引き続き旺盛な需要に支えられ好調に推移したことに加え、そのほかの製品についても需要が回復したことにより総じて堅調に推移し、増収増益となりました。

通期の見通しにつきましては、当第3四半期において半導体・電子部品関連製品が想定を上回って推移したことなどから、昨年11月に続いて再度、業績予想を上方修正いた



はっとり まこと
代表取締役社長
社長執行役員 **服部 真**

しました。それを踏まえて期末配当金を当初予想の1株当たり39円から49円に増額いたします。これにより、年間配当金は中間配当金39円と合わせて88円となります。

現在推進中の中期経営計画では、最終年度である2024年3月期の経営目標として売上高2,550億円、営業利益210億円を掲げていますが、これを初年度で達成できるものと予想しております。今後もさらなる業績向上を目指してまいりますので、株主・投資家の皆様には引き続きご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

	2022年3月期連結業績予想			2021年3月期
	当初予想 (2021年5月発表)	前回修正予想 (2021年11月発表)	今回修正予想 (2022年2月発表)	実績
売上高	2,400億円 ▶	2,550億円 ▶	2,550億円	2,359億 2百万円
営業利益	175億円 ▶	210億円 ▶	220億円	170億30百万円
経常利益	175億円 ▶	215億円 ▶	225億円	167億70百万円
親会社株主に帰属する 当期純利益	125億円 ▶	150億円 ▶	160億円	114億 7百万円

リンテックのシール・ラベル用 粘着製品と環境配慮に 向けた取り組み



当社グループでは2030年を見据えた長期ビジョン「LINTEC SUSTAINABILITY VISION 2030」を掲げ、脱炭素社会・循環型社会の実現への貢献を目指しています。今号では当社グループの主力製品であるシール・ラベル用粘着製品とその環境配慮に向けた取り組みについてご紹介します。

身近なところで活躍するシール・ラベル

シールやラベルには商品の名前や内容を表示するのはもちろん、店頭で商品を目立たせる機能や商品使用時の注意書き表示、さらには宅配便の宛名表示やバーコードによる情報管理など、さまざまな用途と役割があります。食品や日用品をはじめ自動車や家電、物流・流通、医療・医薬など幅広い業界で欠かせない存在となっており、私たちの暮らしを身近なところで支えています。



食品関連



日用品関連



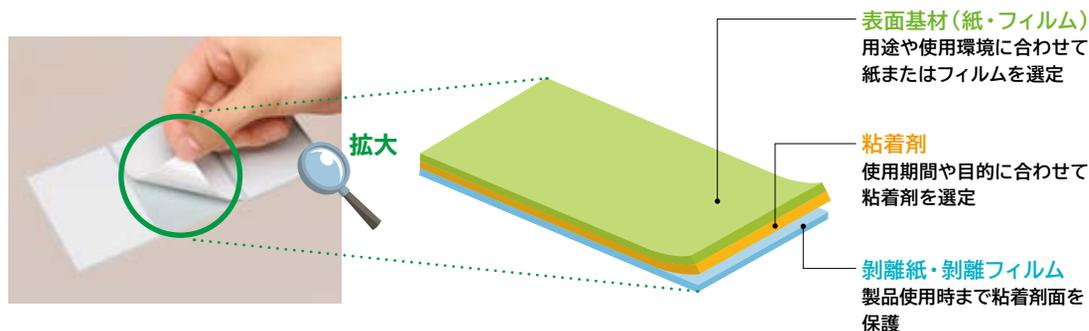
自動車関連



物流・流通関連

シール・ラベル用粘着製品の基本構成

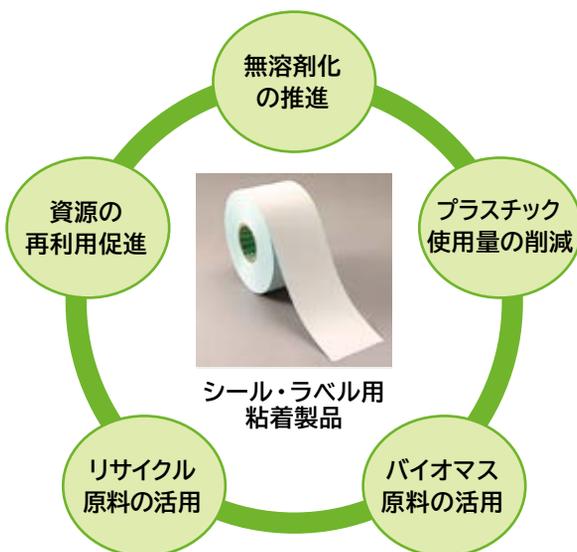
シール・ラベル用粘着製品とは、シールやラベルとして印刷・加工される前の無地の粘着紙・粘着フィルムのことです。基本的には表面基材(紙・フィルム)と粘着剤、剥離紙・剥離フィルムという3層で構成されています。当社ではそれぞれの層において用途や使用環境などの条件に合わせた材料を提案し、最適な組み合わせの製品を提供。さらに長年の実績で培われた高い品質と市場のさまざまなニーズに迅速に対応することで、リーディングカンパニーとしての地位を確立しています。



環境配慮ニーズが拡大するシール・ラベル市場

温室効果ガスによる地球温暖化やプラスチックによる海洋汚染の深刻化を受け、社会全体で環境への意識が高まってきており、シール・ラベル用粘着製品に対しても環境配慮ニーズが拡大しています。当社グループではその対応として製造工程における環境負荷の低減を図り、植物などに由来するバイオマス原料やリサイクル原料の活用、さらには各種容器をはじめとするラベルを貼った対象物の再利用や再利用まで考慮した製品の開発・提案にも積極的に取り組んでいます。

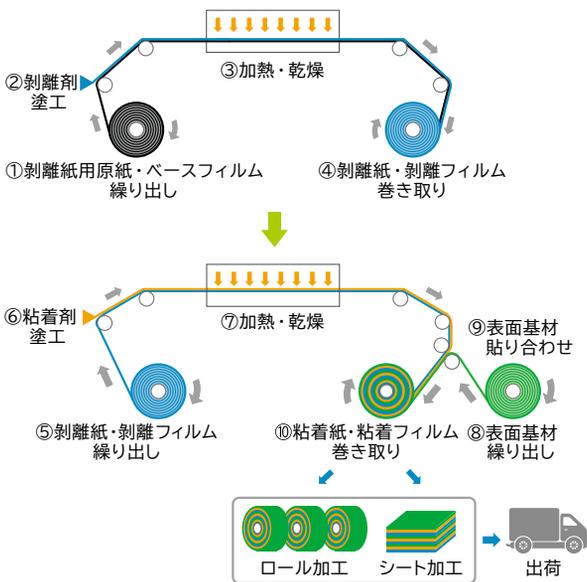
■ リンテックの環境配慮への主な取り組み



無溶剤化への取り組み

シール・ラベル用粘着製品は、まず紙やフィルムに剥離剤を塗工して剥離紙や剥離フィルムをつくり、その上に粘着剤を塗工してから表面基材を貼り合わせます。通常の剥離剤や粘着剤は石油由来の有機溶剤で希釈してから塗工し、加熱・乾燥させますが、揮発した溶剤を燃焼処理する際にCO₂が排出されます。そのため当社では、水で希釈するエマルジョン型の剥離剤・粘着剤や、海外で多く使われている熱で溶かして塗工するホットメルト型粘着剤などの採用により、無溶剤化を推進しています。

■シール・ラベル用粘着製品の製造工程



環境配慮製品のラインアップを拡充

CO₂排出量の削減や海洋汚染防止の観点から、石油由来のプラスチックやフィルムの使用をやめたり、減らしたりする「脱プラ」「減プラ」の動きが世界中で広がっています。当社では耐水性が必要な商品の表示ラベルとして使用される粘着フィルムの代わりに、水にぬれても破れにくい耐水紙を表面基材に採用したシール・ラベル用粘着紙を開発。また、バイオマス原料を配合した粘着剤の開発・採用拡大やフィルム基材の薄型化などにより、脱プラ・減プラを推進しています。

そのほか、使用済みペットボトルをリサイクルしてつくられる再生PET樹脂を利用した粘着フィルムや、商品の容器を回収した後に弱アルカリ温水で洗浄するとラベルがきれいに剥がせ、容器の再使用を促進するラベル素材など、さまざまな環境配慮製品をラインアップしています。



特殊紙製造技術を生かした耐水紙の採用によって脱プラを実現



洗瓶工程でラベルが簡単に剥がせ、飲料瓶の再使用を促進

インタビュー

シール・ラベル用粘着製品のマーケティングを担う印刷・情報材事業部門の市場開発室長に、当社の環境配慮製品に対する市場の反応などについて聞きました。

多様な環境ニーズを捉え、新市場を開拓

当室では一般消費者向け商品のメーカーからニーズを収集して製品提案を行っているほか、これまでシールやラベルが使われてこなかった分野の開拓にも積極的に取り組んでいます。環境配慮製品のニーズは年々高まっており、再生PET樹脂を利用した粘着フィルムなどもかなり市場に浸透してきたと感じています。また、昨年12月に出席した国内最大級の環境関連展示会では、容器回収後の洗浄工程で簡単かつきれいに剥がせるラベル素材が容器の循環利用の観点から好評でした。今後も多様な環境ニーズを捉え、製品の品質や機能性をさらに向上させて新たな価値を創造することで、持続可能な社会の実現に貢献していきたいと考えています。



ペットボトルからつくられた再生PET樹脂を表面基材の原料に使用した粘着フィルムの用途例



事業統括本部
印刷・情報材事業部門
市場開発室長
やまもと たかし
山本 貴司

関連情報 米国に新会社を設立

この2月に米国粘着製品メーカーの事業を約46億円で譲り受け、新たにスピネカー社を設立しました。同社は環境負荷の少ない無溶剤の粘着塗工方式で、粘着シートや多品種・少量生産に対応したロールラベル用粘着製品を製造しており、当社の米国子会社で一般ラベル用粘着製品を大量生産するマックタック・アメリカ社の傘下に入ります。当社グループでは市場の異なる両社の強みを生かすことで、北米市場でのシェア拡大と収益性の向上を図っていきます。



● スピネカー社の概要

社 名：Spinnaker Pressure Sensitive Products LLC
所 在 地：米国 オハイオ州
事業内容：シール・ラベル用粘着紙・粘着フィルムなどの製造・販売
資 本 金：2,000万USドル
設 立：2022年2月1日